ツクルバ 2023年7月期 通期決算を発表 売上高・売上総利益ともに最高値を更新し四半期黒字転換、 2024年7月期予想は通期黒字転換へ

株式会社ツクルバ(本社:東京都目黒区、代表取締役CEO:村上浩輝、証券コード:2978、以下ツクルバ)は、本日2023年9月14日、2023年7月期 通期決算を発表しました。

■ 2023年7月期 通期・第4四半期業績ハイライト

期初方針である「売上総利益の継続成長と営業損益の改善」が順調に進捗し、主にカウカモ事業のプラットフォームGMVの成長により通期売上高は4,152百万円(前年比+50%)、売上総利益は2,522百万円(前年比+37%)を達成し、過去最高値を更新しました。また、コストマネジメントの効果により営業損益は前年比+641百万円の△132百万円と赤字幅を大幅に縮小しました。

第4四半期においても、カウカモ事業の堅調な成長が牽引し、四半期売上高は1,486百万円(前年同期比+78%)、売上総利益は725百万円(前年同期比+25%)と過去最高値を更新しております。営業利益は69百万円(前年同期比+174百万円)と四半期単体で黒字転換を実現しました。

ハイライト

当第4四半期は売上高・売上総利益ともに最高値を更新し、黒字転換しました。通期業績も期初予想を超過して着地しました。2024年7月期においては、全社生産性の向上を通じた営業利益の確実な創出に最注力します。

2023年7月期 第4四半期業績 (2023年5月~2023年7月) (単体) ¹⁾	・ 売上高・売上総利益ともに最高値を更新し、黒字転換	
	売上高	1,486 百万円 (前年同期比 +78%)
	売上総利益	725 百万円 (前年同期比 +25%)
	営業利益	69 百万円 (前年同期比 +174百万円)
2023年7月期 通期業績 (単体) ¹⁾	・ 業績予想を上方修正し、期初予想を超過して着地	
	売上高	4,152 百万円 (前期比 +50%、予想比 +4%)
	売上総利益	2,522 百万円 (前期比 +37%、予想比 +1%)
	営業利益	△132 百万円 (前期比 +641百万円、予想比 +88百万円)

■ 2024年7月期 通期業績予想

2024年7月期の業績予想は売上高5,200百万円（前期比+25%）、売上総利益2,800-3,000百万円（前期比+11-19%）、営業利益150百万円（前期比+282百万円）を計画しており、通期黒字化を見込みます。なお、2023年11月に譲渡予定の不動産企画デザイン事業を調整すると、売上高の成長率は+35%、売上総利益の成長率は+15-23%です。

2024年7月期においては、中長期の持続的な利益成長を見据え、「営業利益の確実な創出」に最注力します。全社生産性の向上を推進するとともに、買主サイドを中心とした既存サービスの改善によりGMVを拡大させ、売主サイドを中心に「構造的なテイクレート改善」を継続します。

2024年7月期 連結通期業績予想

2024年7月期の連結業績予想は売上高52億円（前期比+25%）、売上総利益28-30億円（前期比+11-19%）、営業利益1.5億円を計画しています。

2024年7月期 連結通期業績予想

（単位：百万円）

	2024年7月期 業績予想 (連結) ¹	2023年7月期 通期実績 (単体) ²	増減率	調整後増減率 ³
売上高	5,200	4,152	+25%	+35%
売上総利益	2,800 ~ 3,000	2,522	+11% ~ 19%	+15% ~ 23%
営業利益 (うち株式報酬費用)	150 (△88)	△132 (△39)	-	-
経常利益	130	△150	-	-
親会社株主に 帰属する当期純利益	125	△165	-	-

¹ 2023年9月14日公表の「連結決算への移行に伴う連結業績予想の公表に関するお知らせ」に基づき、2024年7月期は連結業績予想を表記

² 2023年7月期以前は連結会計を行っていないため、単体会計の通期業績を表記

³ 2023年9月14日公表の不動産企画デザイン事業の譲渡決定に基づき、不動産企画デザイン事業を控除したカウカモ事業のみの増減率を表記

■ 中長期財務方針

中長期的には、2024年7月期に最注力する既存事業の収益性改善による創出キャッシュフローを基に、顧客価値向上と競争優位確立に向けた再投資を行うことで、持続的な利益成長を実現します。

具体的には、全社における生産性向上を経て、既存事業へのリソース投下を再開し、2025年7月期以降は売上総利益の高成長を継続します。営業利益に関しては、期中の投資を行ったうえで、每期増益を継続する方針です。投資の観点では、主に営業キャッシュフローと有利子負債による資金調達を活用し、中核事業への再投資を行います。長期的には、M&Aも含む成長領域への投資にも機動的に対応します。

中長期財務方針

中長期的には、2024年7月期に最注力する既存事業の収益性改善による創出キャッシュフローを基に、顧客価値向上と競争優位確立に向けた再投資を行うことで、持続的な利益成長を実現します。

2025年7月期以降の中長期財務方針

既存事業の収益性改善による創出キャッシュフローを基に、顧客価値向上と競争優位確立に向けた再投資を行うことで、持続的な利益成長を実現

- ・ **売上総利益**：2024年7月期の生産性向上を経て、既存事業へのリソース投下を再開し、売上総利益の高成長を継続
- ・ **営業利益**：期中の投資を行ったうえで、每期増益を継続
- ・ **投資**：主に営業CFと有利子負債による資金調達を活用し、中核事業の競争優位確立に向けた投資を継続。長期的にはM&Aを含む成長投資にも機動的に対応

2024年7月期 主要財務方針

中長期の持続的な利益成長を見据え、営業利益の確実な創出に注力

■ 詳細のご案内

詳細は、当社IRページ掲載の資料をご確認ください。

<https://tsukuruba.com/ir>

<株式会社ツクルバ 会社概要>

やがて文化になる事業をつくり続ける場の発明カンパニー。「『場の発明』を通じて欲しい未来をつくる」というミッションのもと、デザイン・ビジネス・テクノロジーをかけあわせた場の発明を行っています。

<https://tsukuruba.com/>

会社名：株式会社ツクルバ（東証グロース 証券コード：2978）

所在地：東京都目黒区上目黒1丁目1-5 第二育良ビル2F

設立：2011年8月

代表者：代表取締役CEO 村上 浩輝

事業内容：中古・リノベーション住宅のマーケットプレイス型の流通プラットフォーム「cowcamo(カウカモ)」(<https://cowcamo.jp/>)の企画・開発・運営、家を売りたい人と買いたい人のマッチングサービス「ウルカモ」(<https://cowcamo.jp/urucamo>)の企画・開発・運営など

【報道関係者様からのお問い合わせ先】

株式会社ツクルバ（広報：上堀）

TEL: 03-4500-8940 MAIL: press@tsukuruba.com